

光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」～



次世代を担う
若者たち
～馬鈴薯の収穫作業を行う久世達也さん～
(紹介は8ページ)

2019.11
No.
551

📷 農作業風景Photos



南瓜収穫



日吉地区
伊藤基行さん圃場

共立地区
有とこ共栄農場さん圃場



小豆収穫



岐阜地区
井川智博さん圃場

💧 ところピンクにんにく播種 💧



富丘地区
森澤正太さん圃場

令和元年産原料甜菜の受渡しを審議

〜常呂町甜菜対策協議会出荷協議会開かれる〜

常呂町甜菜対策協議会（植松孝雄会長）は9月27日、JA会議室で役員10人、日本甜菜製糖(株)常呂原料事務所より野平兼志所長、井上実職員、オプザバーとして鈴木洋平理事が出席し「常呂町甜菜対策協議会出荷協議会」を開きました。

議案第1号令和元年産原料甜菜の受渡しについて審議し、その後、議案第2号から議案第5号まで全て原案通り承認され、常呂町甜菜対策協議会は終了しました。



議案について審議する役員の皆さん

令和元年産共計小豆の出荷基準について審議

〜常呂町小豆生産組合出荷協議会開かれる〜

常呂町小豆生産組合（林靖士組合長）は10月8日、JA会議室で組合員25人が出席し「令和元年度常呂町小豆生産組合出荷協議会」を開きました。

議案第1号で本年産小豆の出荷基準について審議、議案第2号、第3号を含め、慎重審議の結果、全議案とも原案通り承認されました。

出荷協議会終了後、今年度JAで新しく導入した小豆コンバインの運用についてJA事務局より説明をしました。



出荷協議会に出席した皆さん

オホーツク農業祭でPR

―JAとこころ青年部―

オホーツクJA青年部協議会主催のオホーツク農業祭2019が10月12日、サンドーム北見で開催され、JAとこころ青年部（安藤貴彦部長）が出店しました。

この農業祭ではオホーツク産の農畜産物や加工品の販売を通じ、青年部員と消費者との交流・理解の醸成を目的に行っています。

今年度も地元産野菜を求めた市民で会場は賑わっており、各青年部が地元の農産物や特産物などを出店。

JAとこころ青年部では、常呂町産つぶあんと常呂町小豆生産組合から借用した焼き台で、カリングおやきを中心に、常呂町産小豆製品、

とこころピンクにんにくで作った黒にんにくを販売。常呂町を大々的にPRしました。

農業祭では他に、バター作り体験やトラクター試乗などのコーナーが設けられ、多くの来場者で賑わいました。



JAとこころ青年部のブース

交通事故“ゼロ”を目指して



交通事故防止を呼びかける齊藤所長

JAとごころ（川上和則組合長）は、9月18日に職員を対象として悲惨な交通事故の注意喚起を促すことを目的に「交通安全講習会」をJA会議室で開催しました。

講師の北見警察署常呂駐在所・齊藤勝利所長は、「日没前後1時間の薄暮時は最も事故が多い時間帯です。この時間は、仕事終わりの時間帯で、普段通り慣れている道路での事故となっています。薄暮時における事故防止として油断の排除と細心の注意を払いましょう」と訴えています。

またそのほかに、高齢者ドライバーにむけての高齢者更新手続きや免許証自主返納制度などについて実際の交

交通安全講習会開く
交通事故の事例を交えながら、職員に呼び掛けていました。



交通安全講習会を受講する職員

卵プレゼント キャンペーン実施!!

常呂町農協漁協共同給油所

常呂町農協漁協共同給油所（山田貢所長）は10月3日～4日の二日間、「たまごプレゼントキャンペーン」を行い、大勢の方が利用しました。

同キャンペーンは、ガソリンと軽油が対象燃料で、店頭給油2ℓごとに「ホクレンたまご」を1個プレゼントするものです。

両日とも、営業開始から終了時間までたくさんのお客さんが訪れ、賑わいを見せました。

同キャンペーンで卵をもらったお客さんは「毎年、このキャンペーンを楽しみにしています。色々な料理に使いたいと思います」と話してくれました。



卵を受け取る石澤修さん

3つの特集 “いま”知りたいテーマの特集が毎月3つ

- らくピカ掃除術
- 最高! ご飯のお供
- おいしいお肉のレシピ

年6回別冊付録が付きます

ぜひご購入ください!

家の光 11

特集 らくピカ掃除術

お申し込みはお近くのJA本・支店(所)へ

健康 健康寿命100歳をめざして

手袋 手軽に作れて暮らしに役立つ

料理 毎日のごはん作りの強い味方

「読みたい記事がきっと見つかる!!」

食と農から始まる。JAグループのファミリーマガジン

家の光

定価(税込) ●普通月号 629円 ●付録月号(1+6・5+7・9月号) 922円 ●家計厚付き12月号 1,027円

※消費税率変更期ともない、2019年12月号より定価改定いたします。

お申し込みはお近くのJA本・支店(所)へ JAグループ 家の光協会 〒162-8448 東京都新宿区山谷河原町1 TEL 03-3266-9039 <http://www.jenchikari.net>



●丁寧に野菜を刻んでいます

JAとこころ年金友の会（佐藤國昭会長）は、9月25日、ファーマーズハウスつるで会員11人が参加し、料理講習・昼食会を開催しました。
地元で採れた旬の食材を使い、旬食を食べながら懇談しようという企画された「じゃあじゃあ麺」「じゃがいもと鮭のガーリック炒め」「小松菜とキャベツのダシびたし」「中華スープ」の4品がレシピとなりました。



●参加者で昼食会

参加者は、梶谷未知講師から如て方・炒め方のコツや食材の効能を聞いた後、歓談しながら手際よく料理を作り、昼食となりました。
試食しながら「ニンニクの隠し味がいいね」「お店出せる位美味しいね」など、昼食会の会話も弾み、盛会のうちに終了しました。

旬の食材を使い料理講習・昼食会開催!

— JAとこころ年金友の会 —

金融共済課からのお知らせ

一日皆貯金の実施について

一日皆貯金は昭和40年代より毎年、農協法公布記念日に合わせ積立が始められました。

当時、女性は農業者年金に加入することが出来ず、

「ゆとりのある老後を目指すこと」

「収穫期を終え、経営主が家族に対し一年の労をねぎらうこと」を目的に女性部の協力を得て

各戸訪問推進し実施されてきた歴史のある

積立貯金です。

報徳の言葉に『積小為大（せきしょうだい）』

という教えがあり「小さなことも少しずつ積み重ねていけば、やがて大きなものになるという意味」

ですが、「コツコツと積立てた貯金は老後の大切な備えになります。」

地区担当職員が推進に訪問しますので、

ご協力をお願い致します。

地区担当職員が推進に訪問しますので、



青果事務所からのお知らせ

常呂産の逸品をお歳暮に



年末を控え、間もなくお歳暮シーズンが到来致しますが、お歳暮用品には是非とも青果事務所（直売所）で数多く品揃えしてある常呂町産農産物加工品の逸品をご利用下さい。

単品価格

玉葱スープコンソメ味 1個……	432円
玉葱スープトマト味 1個……	432円
こしあん・つぶあん……	各367円
熟成黒にんにく(100g)……	1,080円
ぜんざい 1袋……	108円
お赤飯の素……	130円
うどん 5束……	691円
うどん 20束……	2,376円

ぜんざい詰め合わせ
(6袋入り)

864円



贈答用

黒にんにく
(3個入り)

3,000円



セットA

3,500円



セットB

3,000円

※表示価格は、セット商品も含めて全て組合員価格（税込）です。



Twitter 大好評更新中!



7月の開始以来、延べ**55,313**回
閲覧されました！（10月20日時点）

JAところホームページからもご覧いただけます



行事予定表

11月1日(金)～11月30日(土)

11月 3日(日)

文化の日

11月 4日(月)

振替休日

11月20日(水)

新穀感謝祭

11月23日(土)

勤労感謝の日

11月24日(日)

農休日

11月25日(月)

第10回定例理事会

11月26日(火)～30日(土)

地域組織リーダー研修夢さがし塾

第8回理事会報告〈9月20開催〉

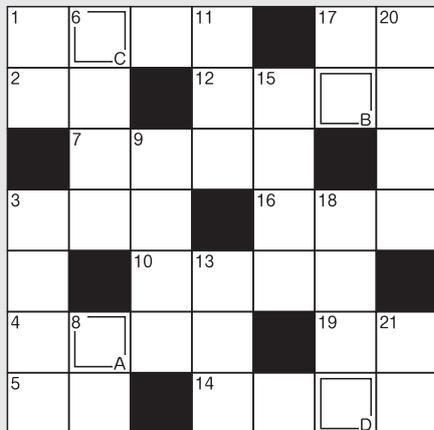
- ◆令和元年度上半期ディスクロージャー誌について
- ◆畜産クラスター機械導入事業に係る再貸付について

〈報告事項〉

- ◆第2四半期監査報告について
- ◆8月末仮決算報告について
- ◆オホーツク地区JAの概要について
- ◆第10回 JAところ収穫“菜”の開催について
- ◆(株)常呂町産業振興公社(ホタテ貝殻粒状化施設)の入札結果について
- ◆ホームページ更新について
- ◆組合員の加入について
- ◆農業委員会報告について

Crossword Puzzle ~クロスワード・パズル~

二重マスの文字をA～Dの順に並べ替えて出来る言葉はなんでしょう？



ヨコのカギ

- ①ボジョレー・ヌーボーを輸出する国
- ②沖縄の海にいるマンタもこの仲間
- ③アルファとガンマの間です
- ④一つのコンセントに多くの機器をつなぐ〇〇〇〇配線
- ⑤マニキュアを塗る物
- ⑦とても良いとされるおみくじの運勢
- ⑩不要な部分を省いて描きます
- ⑫灰皿にたまる物
- ⑭結婚式を行うこと
- ⑯カエデの別名です
- ⑰化粧水や乳液でスキン〇〇をした
- ⑲絵を描く職業の一つ

タテのカギ

- ①ピーヒャララと吹きます
- ③ご指導ご〇〇〇〇のほどよろしくお願いします
- ⑥車を運転するのはドライバー、バイクの場合は
- ⑧日本人の主食です
- ⑨ピザの斜塔がある国
- ⑪穂が美しい野草
- ⑬大きく立派な家のこと
- ⑮彼は上司にも〇〇〇〇置かれる存在だ
- ⑰生兵法は大〇〇のもと
- ⑱果物のこと。和食のコースでデザートをこう呼ぶことも
- ⑳映画や小説の大まかな内容のこと
- ㉑富有、次郎などの品種があります

先月の当選者・解答

10月号のまちがい探しの答えは、「3、5、6、9、12」でした。抽選の結果、次の方が当選しました。おめでとうございます。

佐藤 虹心さん(豊川)

※()内は地区名です。

応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えと広報誌へのご意見・ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。抽選で、防寒テムレスをプレゼントします。

読者の声

★いつも楽しくやっています！

(富丘地区・石田 真子さん)

★農作業写真を楽しみにしています。

(匿名希望)

農業を担う青年たち

No.5

※今年度の新規就農者の皆さんを前月号から引き続きご紹介致します。

共立地区 **大江 慎悟さん** (父: 英元さん)

- 生年月日
平成8年12月10日 (22歳)
- 最終学歴
北海道立農業大学校
- 就農にあたっての抱負
将来的に規模拡大を目標に頑張っていきたい!
- いままで学んだこと
農業大学校を卒業後に2年間、池田町にある納牧場おさめで大規模な農業経営について学びました。
- 趣味
ドライブ



収穫体験で楽しく食育

～JAとこころ青年部食育事業～

JAとこころ青年部(安藤貴彦部長)は10月2日、地元の小学校3・4年生を対象にした食育事業を実施し、48人の児童が参加しました。

この事業は、常呂町の農業と食の大切さを知ってもらうことと、講師役の部員が農業を伝える力を身に付けることを目的に、毎年青年部が行っています。

今年初めて屋外での実施を計画、5月の食育事業では植付体験を行っており、今回はそこで植え付け、育てられた玉葱や

馬鈴薯などの5品目の収穫体験で汗を流しました。部員が、作物の生育過程や収穫までの管理の大切さなどを伝えながら、児童は一生懸命収穫作業を行いました。

参加した児童は、「春に植えた作物が、こんなに大きくなってびっくり」と笑顔、安藤貴彦青年部長は、「大人になっても常呂町の農業や食を誇れるようになるきっかけになれば」と話しました。



上:馬鈴薯の収穫をする児童
下:児童にたい焼きの作り方を教える青年部

編集後記

- 10月に入り、小豆、甜菜などの収穫作業が本格化してきましたね。忙しい時期こそ安全点検などをしっかり行うようにして農作業事故を防ぎましょう!
- 10月26日に行われたJAとこころ収穫“菜”にたくさんの方々のお出で、ご来場いただき誠にありがとうございました。開催当日の様子は来月号に掲載致しますので楽しみに! **《営農企画課: 広報担当》**

次世代を担う

若者たち

馬鈴薯の収穫作業を行う久世達也さん

今月の表紙は、岐阜地区の久世達也さん(24)です。馬鈴薯の収穫作業を行っているところを取材させて頂きました。収穫作業の合間に、これからの農業への抱負について聞くと「まずは、栽培技術、機械の使い方の基本的なことを完璧にしたい。馬鈴薯を収穫するこの時期が一番やりがいを感じる。これからも馬鈴薯作りに力を入れていきたい!」と話してくれました。農作業中にも関わらず、取材、撮影にご協力いただきましてありがとうございました。

